

岡山市は動きます



令和8年度の供用開始を目指し整備を進めている新庁舎について基本設計の素案が完成しました。

岡山市役所新築へ

新庁舎は階数は地上17階地下2階。最高高さは87m、延べ床面積56,300㎡、地下駐車場128台、大型車用駐車場4台、搬入用駐車場26台、駐輪場122台という規模です。総事業費は延べ床面積や関連経費の見直しにより13億円圧縮し、289億円となりますが、合併推進債を活用し、一般財源が全体として約75億円減、建設時に必要な一般財源86億円減となりました。今後の予定は2年度末パブリックコメント、3年度実施設計、4年鹿田町駐車場解体、5年1月～8年度新庁舎建設工事となっています。

中心市街地活性化

岡山芸術創造劇場(仮称)は令和5年夏の完成に向けて急ピッチで工事が進んでおります。また、岡山駅前町、野田屋町、蕃山町、表町(旧三丁目劇場跡)等の再開発事業も都市計画決定し、駅前町・蕃山町は本年組合が設立され建設に向けて本格的に動き出します。一方、民間企業による開発も活発化しており、リョービホールディングスの「杜の街」も巨大な高層マンション、テナントビルの建設が順調に進み、更に他企業によるホテル、マンションの建設も目白押しとなっています。近年のこうした動きにより中心市街地の人口は増加し全体としては活力が出てきました。



岡山市表町三丁目10番・11番・23番・24番地区第一種市街地再開発事業(仮称)岡山芸術創造劇場

激しく進む道路事業

左の図は岡山市の環状線道路の整備状況です。これらの都市計画道路は県道ですが、政令指定都市に移行後は岡山市が整備しており、緑線は現在工事が進行中で黒線は既に完成し供用されています。一方、国土交通省は180号線西バイパスと接する国道2号線大樋橋交差点の渋滞対策のため立体交差事業に着手しました。また、岡山自動車道の片側2車線化が始まり、岡山美作道も事業は順調に進み山陽自動車道とのアクセスも令和9年度には完成する予定です。道路事業には巨額な予算も要しますが、国・県・市が連携し力強く推進しています。



全力で取り組む待機児童対策

保育待機児童対策は本市の最重要課題の一つです。大森市長もこの課題解決に向け全力を尽くしてきました。待機児童数は平成26年が0、計算方法を変え、27年は134人、29年の849人を最高に令和2年は259人となっています。一方、申し込み率は26年の38.7%から令和2年、51.9%と大幅に伸びています。この間、保育園・こども園を99園新たに整備し、受け入れ児童数を2,899人増加しました。

こども園では保育と教育を一体化し、公立幼稚園では行っていなかった給食や公立幼稚園では一部のみ行っていた三歳児教育も行うようになりました。女性の社会進出を進めるためにも待機児童ゼロの達成と質の高い保育・教育を目指したいと思います。



令和3年4月開園予定の原尾島こども園

新年度予算の主な事業

岡山市の財政状況は概ね健全ですが、昨年よりの新型コロナウイルス感染拡大により経済・市民生活は厳しい状況となっています。健全財政を保ちながらも市政発展・市民生活向上のため令和3年度予算は積極的な編成となっています。主な予算を紹介します。

中四国をリードし、活力と創造性あふれる「経済・交流都市」

- 日本遺産活用推進事業 1億80百万円
- 岡山駅前整備事業 11億47百万円
- 市街地再開発事業の促進 27億14百万円
- 企業立地推進事業 3億03百万円
- 岡山西部総合公園整備事業 13億90百万円
- 公共交通高齢者・障害者運賃割引事業 3億95百万円
- 道路ネットワークの充実・強化 41億32百万円
- 斎場整備事業 26億93百万円
- 岡山城の魅力アップ 9億80百万円
- 岡山芸術創造劇場の整備 76億07百万円
- おかやまマラソン 1億10百万円
- 神崎山公園競技場改修事業 2億92百万円



日本遺産に登録 造山古墳

誰もがあこがれる充実の「子育て・教育都市」



平成30年開館の操山公民館

- 誰もがあこがれる充実の「子育て・教育都市」
- 子育て環境の施設整備推進事業 10億99百万円
 - 放課後児童健全育成事業 6億98百万円
 - 保育士確保対策 4億74百万円
 - 特定不妊治療費助成事業 2億29百万円
 - 困難を抱える子どもとその家庭への支援 9億76百万円
 - 山南義務教育学校整備事業(仮称 小中一貫校) 13億88百万円
 - 公民館整備事業(上道) 4億02百万円
 - ICT活用支援事業 1億49百万円
 - 新岡山学校給食センター整備事業 2億94百万円
 - 学力向上・魅力ある授業推進事業 2億30百万円
 - 問題行動等の防止及び解決に向けた総合支援事業 4億70百万円

全国に誇る、傑出した安心を築く「健康福祉・環境都市」

- 健康づくりと生涯活躍推進事業 1億66百万円
- 生活支援サービス体制推進事業 92百万円
- 下水道・河川による浸水対策事業 39億05百万円
- 新庁舎整備事業 7億61百万円
- 水道施設・管路耐震化等更新化事業 86億38百万円
- 下水道施設の耐震化・再構築事業 35億51百万円
- 消防署所適正配置事業 7億03百万円
- 地球温暖化対策事業 3億14百万円
- ごみ処理広域化処理施設整備・運営事業 1億29百万円
- 市民サービス拠点整備事業 6億19百万円



2019宇野学区敬老会